

連載企画

身近な山や川をジオの視点から楽しむ! 筑波山地域ジオパーク探訪

問 ジオパーク室

最終回



身近な山・川⑦ 筑波山(その2)～筑波山山頂ジオサイト～

平野の中にポツンと筑波山

筑波山(図1)は、江戸時代には「西の富士、東の筑波」と称されたように、富士山と比較される名山であり、関東平野の広い範囲から望むことができます。かつて、千葉県銚子の漁師達は、筑波山を目印として漁に出ていたということで、豊漁を願って筑波山に錨を奉納したという逸話もあるくらいです。

さて、日本百名山にも選ばれている筑波山ですが、その標高は877mしかありません。ではなぜ、このような低い山にもかかわらず遠くからでもよく見えるのでしょうか?地図を見ると、筑波山は関東平野の中で特異にそびえ立っています(図2)。この、特異にそびえ立っているということがポイントです。また、筑波山の山頂付近は、約8,000万年～6,000万年前にマグマが冷えて固まった「斑れい岩」でできており、周囲の岩石と比べ、雨や風によって風化しにくい性質を持っています(図3)。



図1 筑波山

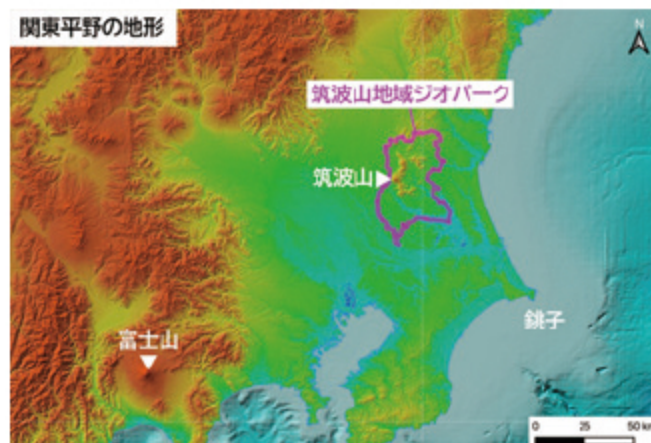


図2 関東平野の地形(地理院地図より作成)

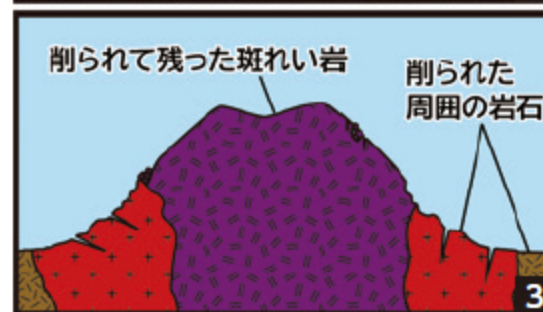
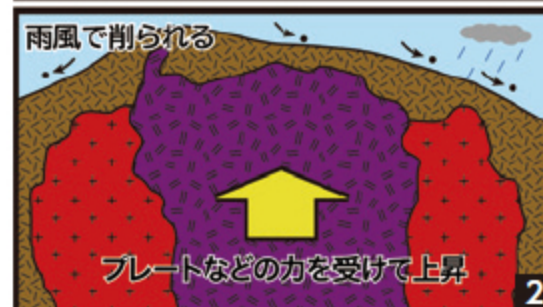
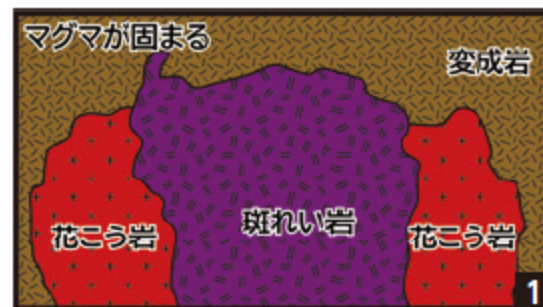


図3 筑波山のでき方

このようなことから、筑波山は、現在に至るまで周囲が削られて平野となっても「山」として残っており、遠くからでもよく見えるというわけです。

祝 日本ジオパーク『再認定』!

皆さまのご支援のおかげで、4年に一度の審査において、日本ジオパークに『再認定』されました。4年前の新規認定時に指摘された「認定ジオガイドの育成」や「市民活動の推進」などの課題の解決を進めたことに加え、「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れたツアーなどの取り組みが、特に高い評価を受けました。持続可能な地域社会を目指し、多くの方に地域の魅力を知っていただけるよう、今後もさらに活動を推進していきますので、これからもよろしくお願いいたします。

筑波山地域ジオパークで、またお会いしましょう!

